

救急・救助

第 5 章

救急・救助

救急・救助



救急・救助

救急活動状況

救急出動件数は、5,580 件で前年度と比べ 517 件増加し、それに伴い搬送人員も 504 人増加しており、16 年から横ばいであった件数が急激な伸びを示しています。要因としては、夏の異常気象(高温)による熱中症等による件数と、65 歳以上の方の件数が増加したことが考えられます。また、これは 1 日に約 15.3 件で、市民の約 29 人に 1 人の割合で救急搬送していることとなります。



救助活動状況

平成 22 年度の救助出動件数は 49 件であり、そのうち実際に救助活動を行った件数は 37 件、救助人員も 23 名となっています。

救助活動は、火災をはじめ交通事故、機械事故などあらゆる災害において、生命や身体が危険にさらされている被災者を安全かつ迅速に救出することを目的としています。そのため、救助隊員は高度な知識及び技術が必要とされています。

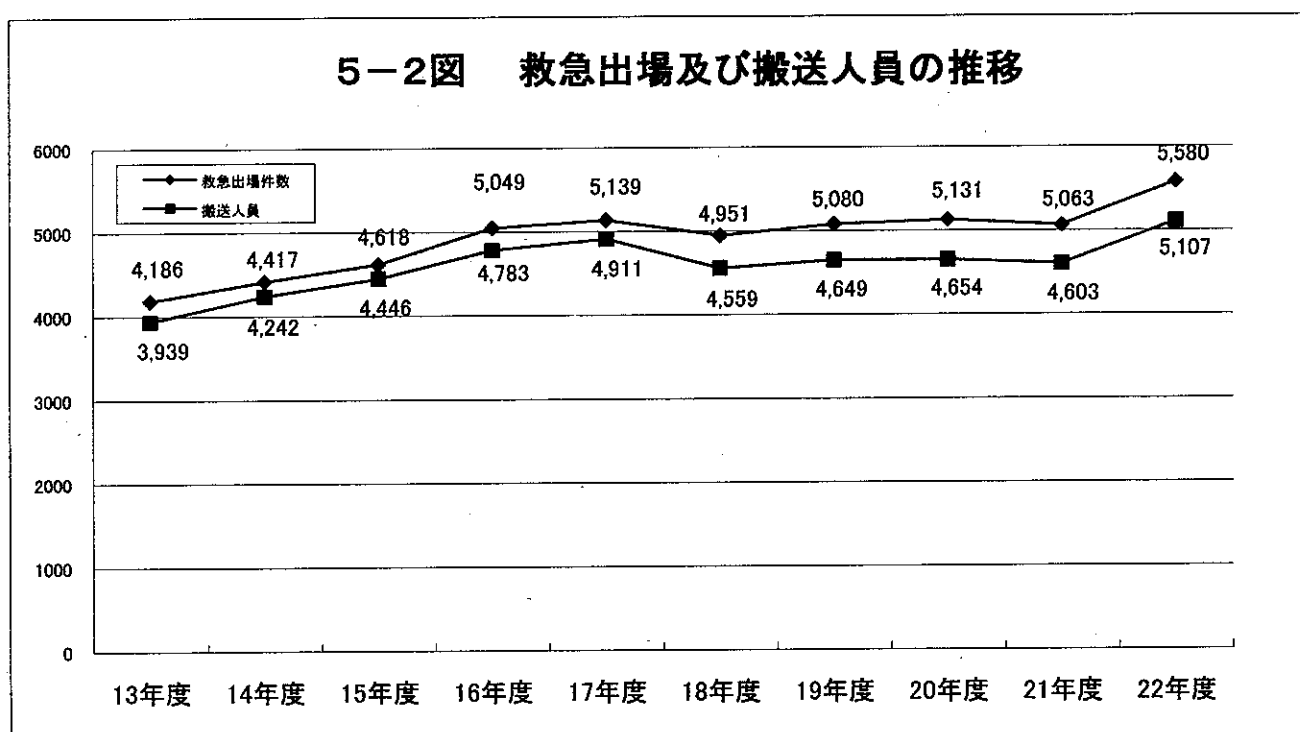


写真は各種訓練等によるものです。

第5-1表 救急出場の状況

	平成22年度	前年度比
救急出場件数	5,580件	517件(+)
搬送人員	5,107人	504人(+)
1日平均出場件数	15.3件	1.2件(+)

5-2図 救急出場及び搬送人員の推移



第5-3表 救急出場の状況(署所別)

()は前年比増減

	本署	藤沢分署	西武分署	合計
出場件数	2,695(+194)	1,723(+200)	1,162(+123)	5,580(+517)
搬送人員	2,464(+220)	1,564(+187)	1,079(+97)	5,107(+504)
1日平均出場件数	7.4件(+0.3)	4.7件(+0.3)	3.2件(+0.6)	15.3件(+1.2)
〃 搬送人員	6.8人(+0.5)	4.3人(+0.2)	3.0人(+0.6)	14.0人(+1.2)

(1) 搬送人員の状況

搬送人員を程度別で示すと第5-4表となります。搬送人員のうち51%は「軽症」で38%は「中等症」で占められています。

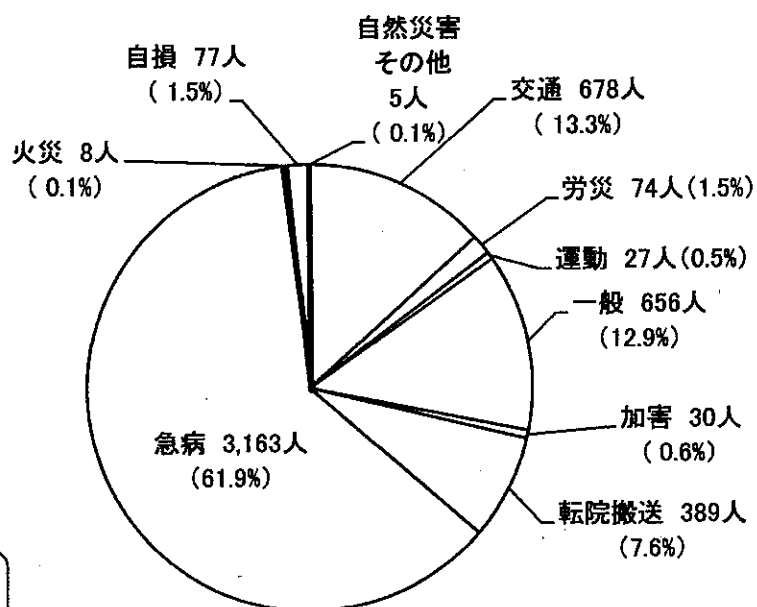
事故種別をみると、「急病」が最も多く、次いで「交通事故」、「一般負傷」になっており、これらの3つの事故種別で全体の88%を占めています。

第5-4表 程度別搬送人員

	搬送人員	前年度比
死亡	83人 (1.6%)	15人(+)
重症	465人 (9.1%)	4人(+)
中等症	1,952人 (38.2%)	202人(+)
軽症	2,607人 (51.1%)	284人(+)
その他	0人 (0%)	-1人(-)
合計	5,107人 (100%)	504人(+)

注() は全体に占める割合及び増減を示します。

第5-5図 事故種別搬送人員



(2) 搬送人員の状況

搬送人員を男女別で示すと第5-6表となり、年齢構成別で図示すると、第5-7図となります。65歳以上の高齢者が全搬送人員の46%を占めています。

また65歳以上の高齢者について過去10年の搬送人員及び全搬送人員に占める割合を図示すると第5-8図となります。

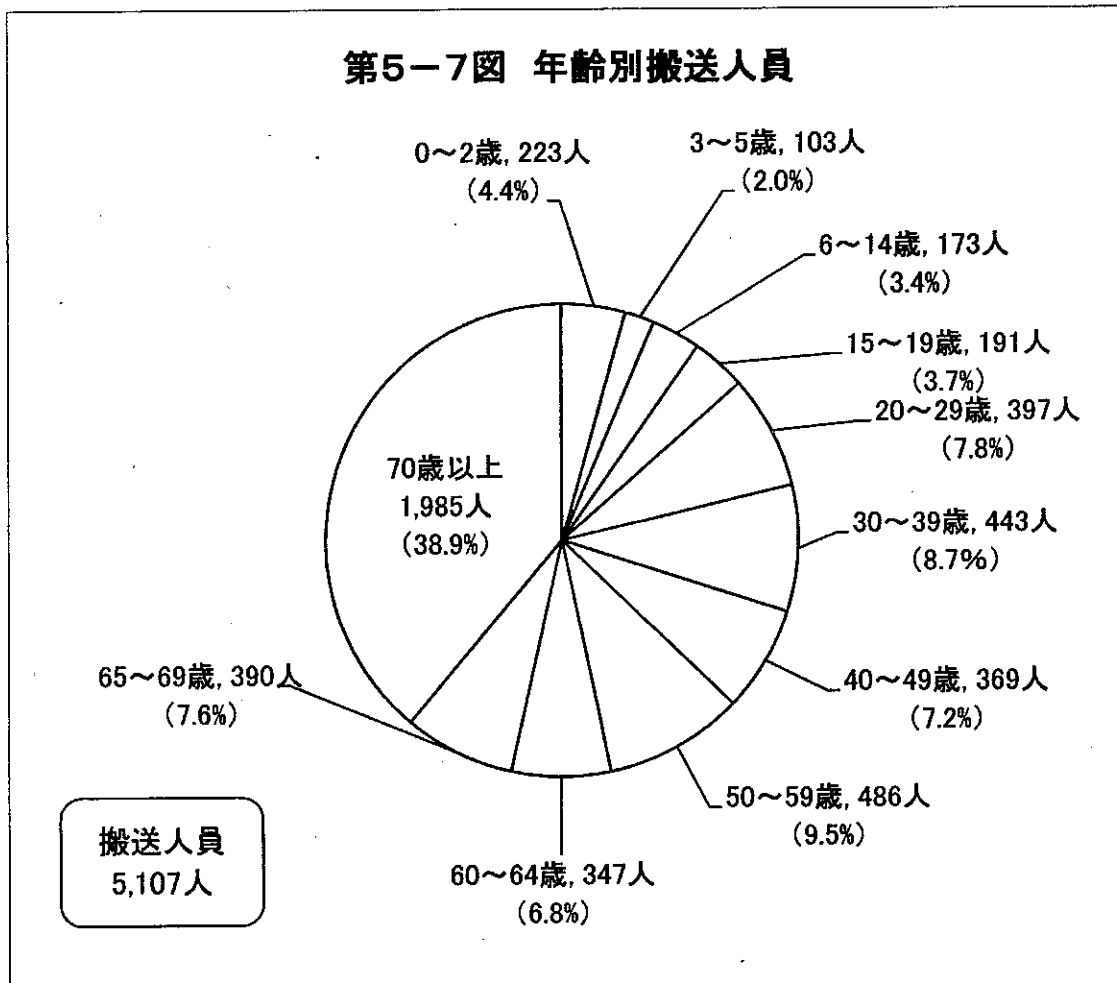
高齢者人口は今後も増大する傾向にあるため、高齢者の搬送人員はさらに多くなることが予想されます。

第5-6表 男女別搬送人員

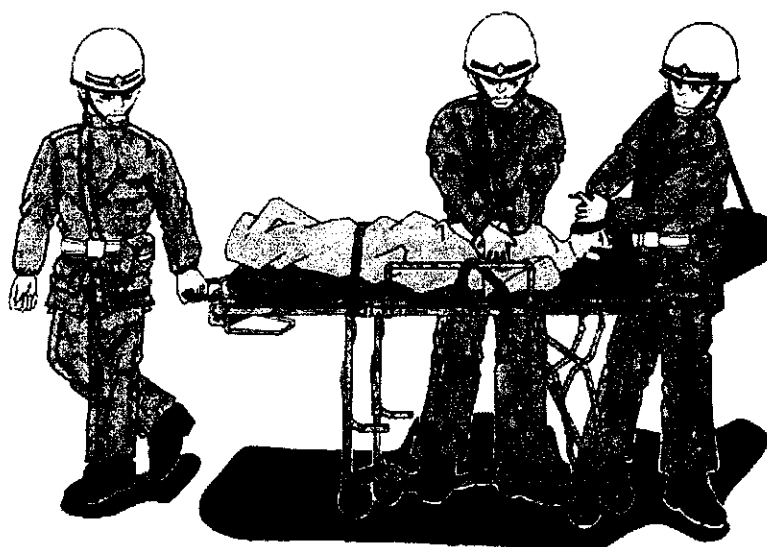
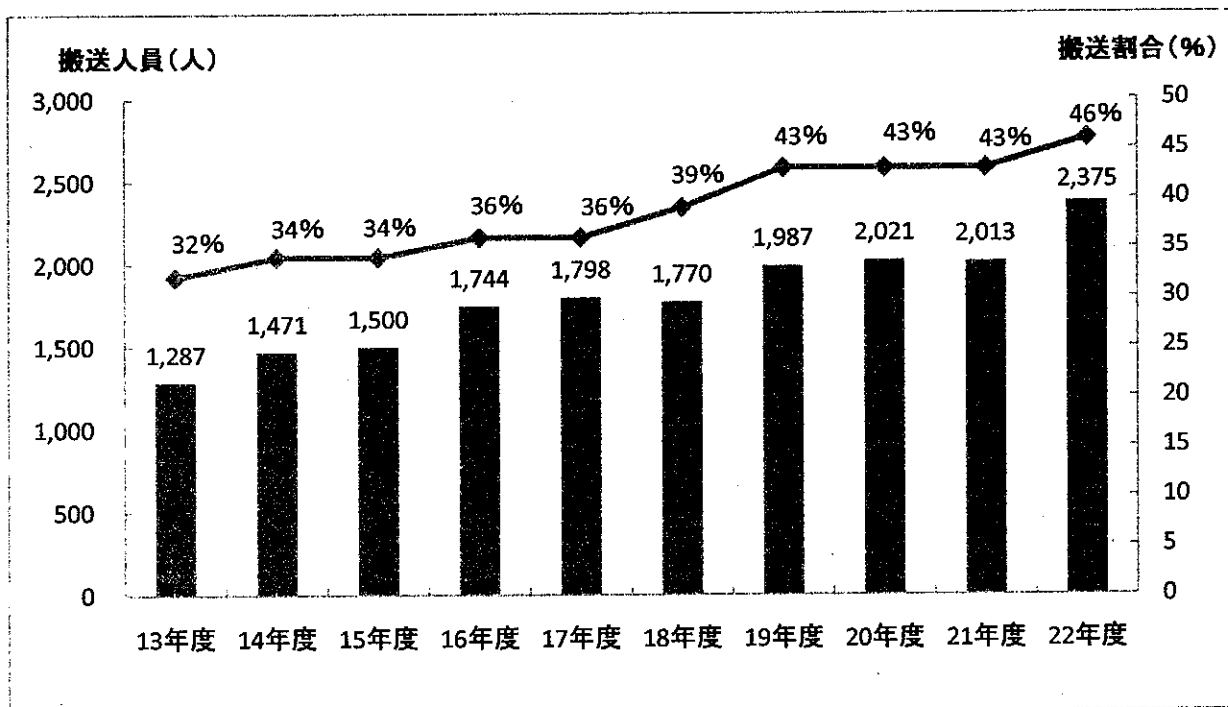
	搬送人員	前年度比
男 性	2,670人 (52.3%)	291人(+)
女 性	2,437人 (47.7%)	213人(+)
合 計	5,107人 (100%)	504人(+)

注() は全体に占める割合及び増減を示します。

第5-7図 年齢別搬送人員



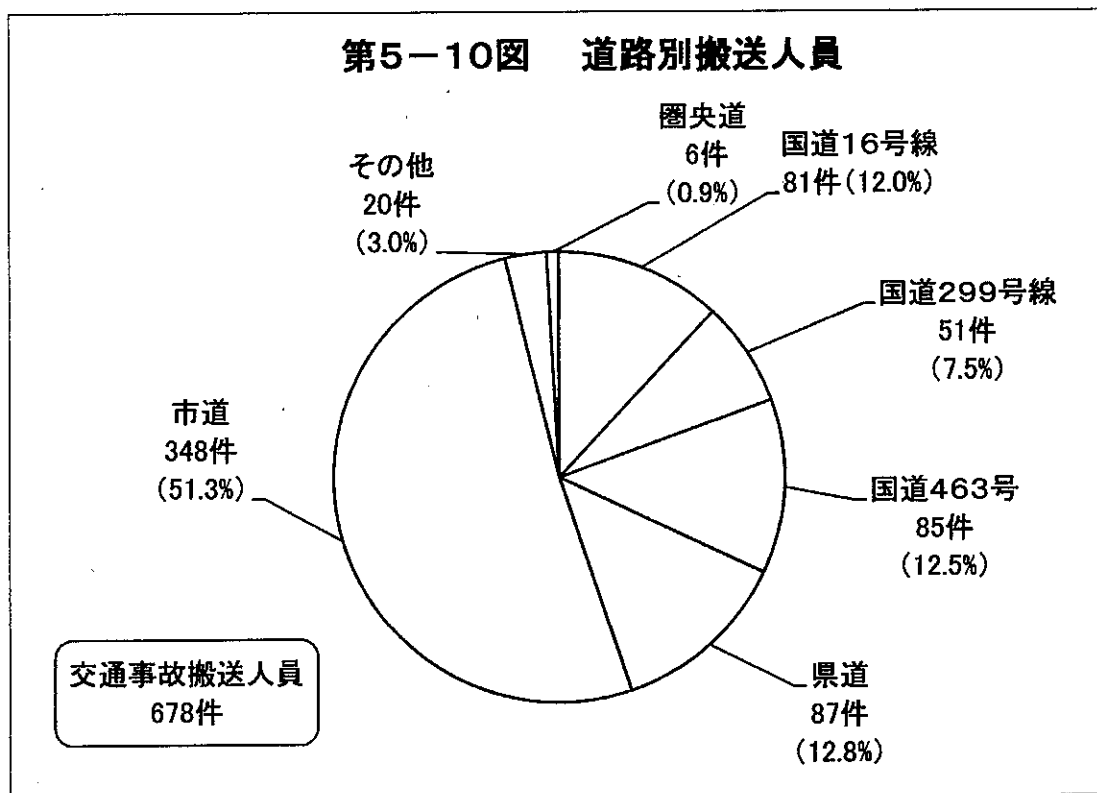
第5-8図 高齢者の搬送人員と搬送割合の推移



第5-9表 交通事故に伴う発生場所別負傷程度

	軽症	中等症	重症	死亡	その他	合計
国道16号線	67	5	8	1		81
国道299号線	20	9				29
国道299号線バイパス	20	2				22
国道463号線	35	5	4			44
国道463号線バイパス	30	11				41
県道川越入間線	23	4				27
県道所沢青梅線	4					4
県道狭山下宮寺線	2					2
県道二本木飯能線	6					6
県道青梅入間線	11	4				15
県道富岡入間線	19	3				22
県道高倉黒須新道	2	1				3
入間市駅停車場線	2					2
武蔵藤沢停車場線	4					4
県道馬引沢飯能線	2					2
市道	270	70	8			348
その他	15	5				20
圏央道	5		1			6
合計	537	119	21	1	0	678

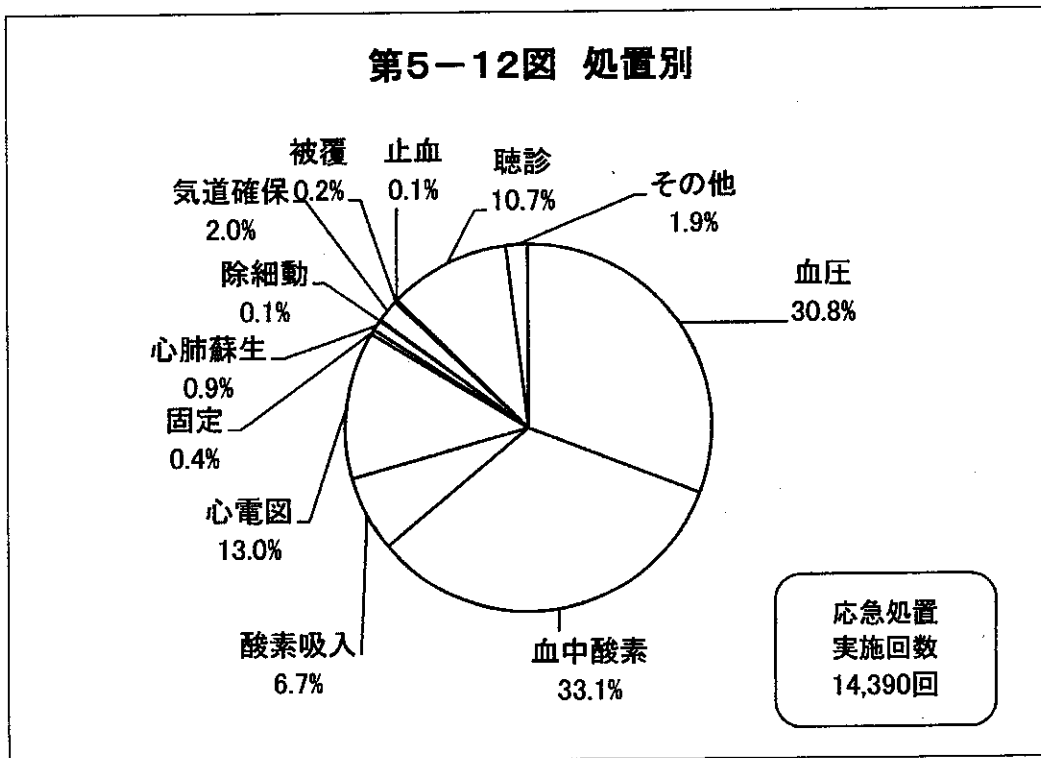
第5-10図 道路別搬送人員



第5-11表 救急隊員の行った応急処置実施状況

	急病	交通	一般負傷	その他	合計
止血	9	14	32	3	58
固定	41	196	118	41	396
心肺蘇生	86	2	7	6	101
酸素吸入	615	26	17	121	779
気道確保	184	4	12	10	210
被覆保護	15	164	205	63	447
血圧測定	2,836	625	542	552	4,555
聴診器聴取	984	124	55	109	1,272
血中酸素飽和度	3,047	661	603	587	4,898
心電図測定	1,194	41	47	174	1,456
除細動	7	0	0	1	8
その他	178	1	5	26	210
合計	9,196	1,858	1,643	1,693	14,390

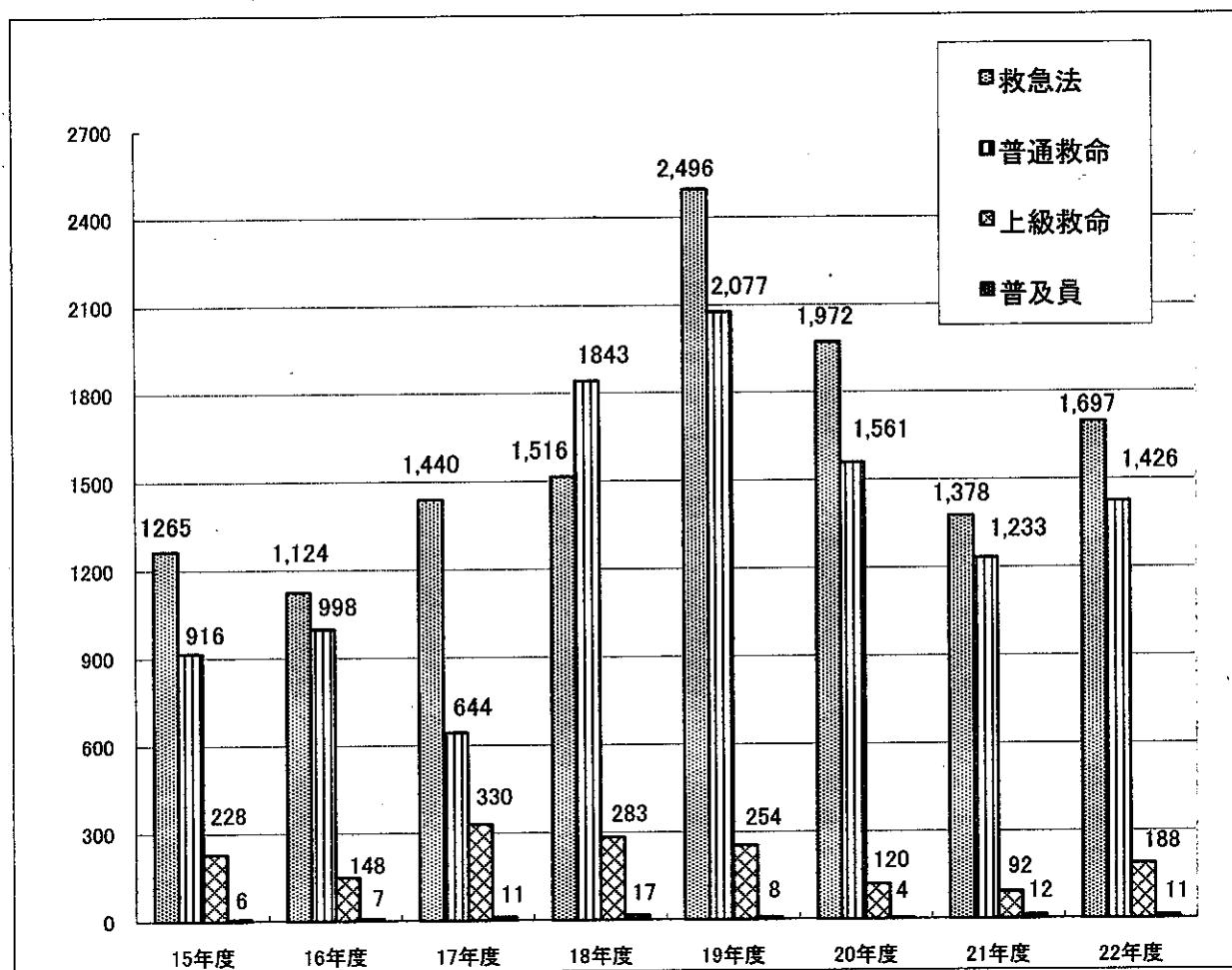
第5-12図 処置別



第5-13表 普及啓発活動状況

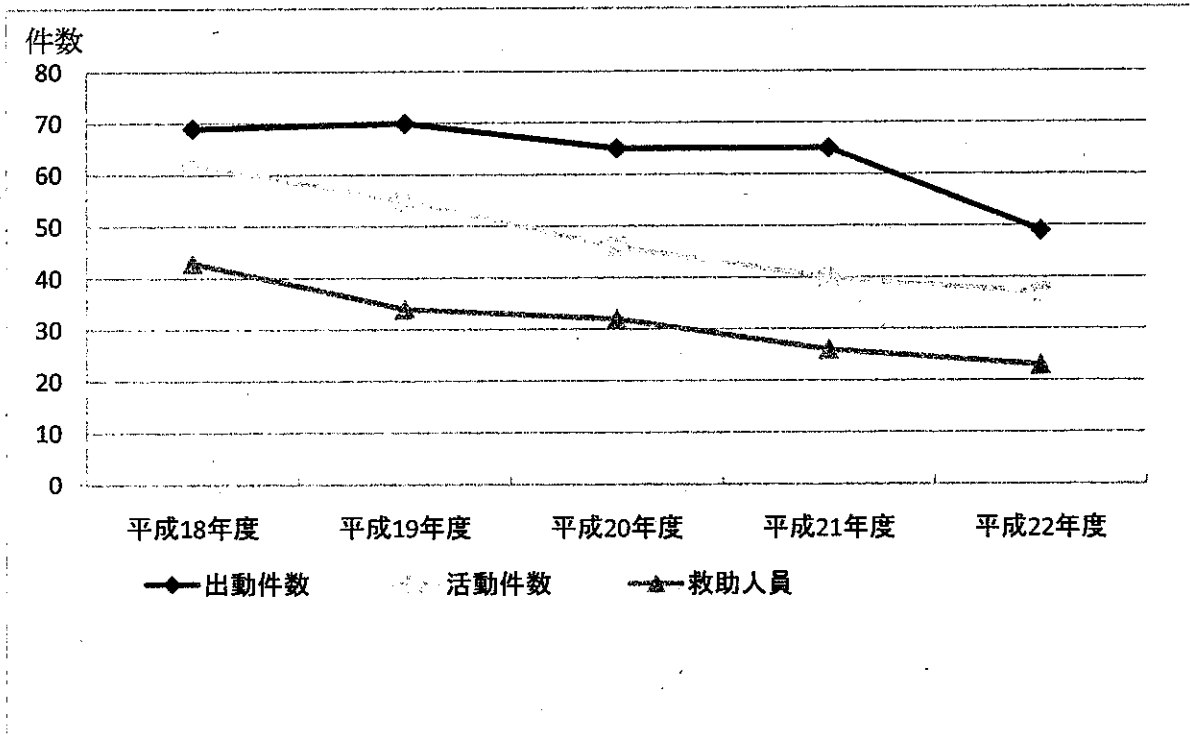
	救急法講習		普通救命講習		上級救命講習		普及員養成講習	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
平成15年度	47	1,265	38	916	12	228	1	6
平成16年度	52	1,124	45	998	10	148	1	7
平成17年度	61	1,440	41	644	18	330	1	11
平成18年度	62	1,516	95	1,843	14	283	1	17
平成19年度	89	2,496	108	2,077	13	254	1	8
平成20年度	87	1,972	90	1,561	6	120	1	4
平成21年度	60	1,378	73	1,233	5	92	1	12
平成22年度	72	1,697	84	1,426	10	188	2	11
合計	530	12,888	574	10,698	88	1,643	9	76

第5-14図 普及啓発受講人数状況



第5-15表 年度別救助出動件数及び活動件数

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
出動件数	69	70	65	65	49
活動件数	62	55	46	40	37
救助人員	43	34	32	26	23



第5-16図 平成22年度救助出動事故種別

